

# 国際競争力検討部会 具体的方策案

NHK

## ○項目2 「次世代社会インフラシステム」のアジア展開

ICTを活用した安心・安全システム

## ○項目5 コンテンツの海外発信

(株)日本国際放送による海外向け放送の支援・活用

## ○項目6 国際標準化戦略の策定

標準化・規格化の効果的な戦略

# 項目2 「次世代社会インフラシステム」のアジア展開

## ■ ICTを活用した安心・安全システム

- 日本は自然災害が多い国であり、その対策を目的とした多くの優れた防災システムが構築されている。
- 例えば、日本各地に配置された地震、潮位、水位、雨量の計測データを収集し、こうしたデータをもとに警報を発して放送や通信によって配信するとともに、災害発生後の非常時には、様々な伝達手段を使って災害情報を送り届ける一連のシステムは国家規模の社会インフラを形成し、国民の安心・安全を支えている。
- こうした、最先端のICT技術を活用したインフラをトータルパッケージとして日本と同様に災害の多いアジア諸国に提供していくことは、日本の国際貢献の点でも重要なことである。

# 項目5 コンテンツの海外発信

## ■ (株)日本国際放送による海外向け放送の支援・活用

- 去年4月、放送法の規定※<sup>1</sup>を受けNHK子会社として設立された(株)日本国際放送※<sup>2</sup>は、NHKワールドTVと同じチャンネルを使って、世界各国に向けテレビジョンによる広告放送を行い、日本とアジアの情報を発信している。

※<sup>1</sup> 放送法第9条の2第1項。NHKに対し、NHKワールドTVの番組制作等の業務を受託する子会社の保有を1社に限り義務付けたもの。

※<sup>2</sup> NHKのほか平成22年2月現在、民間放送、IT企業、商社、金融機関など民間企業15社が出資。NHKからの受託業務のほか、海外向けに独自の広告放送を行っているもの。

- 同社の海外向け広告放送は、日本各地の自然や文化・産業から人々の暮らしぶりまで様々な視点から日本の魅力を世界にアピールする番組を企画中であり、この海外情報発信ツールを官民をあげて積極的に支援・活用することにより、「日本のコンテンツ産業の発展拡大」、「日本の認知度向上」、「観光客の誘致」、「地域の活性化」等の促進に資することが期待される。

# 項目6 国際標準化戦略の策定

## ■ 標準化・規格化の効果的な戦略

- 技術のボーダーレス化や社会のグローバル化が進んだことで、かつてのように、研究機関が独自技術を標準化し広めていくことが困難な状況になっている。
- このため、国際標準化に際して研究機関は、研究の初期の段階から広く海外の機関と連携し、それぞれが当事者となってニーズやアイデアを盛り込んでいくことで、標準化をスムーズに進めることが望まれる。
- これにより、知的財産と競争力を高めることができるとともに、日本のICTの国際的な普及と市場の形成を推進していくことが期待される。